ますます進む市内の開発

◇三井不動産の複合施設が完成

海老名市役所近くに三井不動産（株）（本社・東京都中央区）の「ＭＦＩＰ海老名」が、６月末に竣工した。物流倉庫やオフィスなどが入る複合施設で、建物の一部に木材を採用しており、同様の施設では国内初となる。周辺には今後日帰り温泉施設も建設される。

延床面積は約４万平方メートルで、４階建てのうち１階・２階と４階がオフィス・研究施設用。全てのフロアが契約済みとなっている。

エレベーターホールやラウンジなどに木材をふんだんに使い、鉄骨資材よりも約４割のＣＯ２を削減する。丹沢の山並みをモチーフにした装飾や、周辺の田んぼにちなんだ稲穂風オブジェも。同社ロジスティクス事業部・大宅将之グループ長は「外観はオーストラリアの著名なデザイナーを起用し、アースカラーを使うなど周辺へ配慮した」と語る。

建物南側には約２千平方メートルの中央第一公園も整備され、高さ５ｍのネットで囲まれたボール遊びスペースが広がっており、市が管理する。隣接する市道に沿ってベンチなどを備えた長さ約２００ｍの歩道風の空地も整備された。

（タウンニュースより）■



◇中新田丸田地区に新公園

海老名市で土地区画整理事業が進められている市役所周辺地区で７月２３日、（仮称）中新田近隣公園の工事が始まった。新市街地の形成を図るためのまちづくり計画の一環。完成は２０２７年３月に予定されている。

海老名市は官民連携による一体的なまちづくりを推進するため２３年３月、「海老名市役所周辺地区まちづくり基本方針」を策定した。中新田近隣公園が整備されるのは、地区内の最西も側の「中新田丸田地区」。公園のほか住宅や商業施設が整備される計画だ。

（仮称）中新田近隣公園を含む「中新田丸田地区」は、小田急線沿いの厚木駅から徒歩圏内の場所にある。県は２４年３月、市から要望を受けていた、同地区の市街化調整区域から市街化区域への編入を決定。同年４月に地権者らで組織する土地区画整理組合が設立された。同年６月から行われていた地盤改良工事が完了したことで、公園整備事業に着工。今年度は上下水道や道路の整備なども行われる。

公園は大山を望める立地で、噴水、芝生広場、ボール遊びができる区域、大型遊具などが整備される予定だ。広さは約１ヘクタールで海老名駅前の「海老名中央公園」と同等となる。

市都市施設公園課の担当者は「新たに整備される市街地にできる公園。高齢者や家族連れなど、多くの人に楽しんでもらえれば」と話す。

（タウンニュースより）■

会員の広場

山スキーで遭難の危機

鈴木　栄

以前、友達を誘い長野県白馬村の八方尾根にスキーに行きました。山の頂上が本当にとんがっているんです。そして「不帰ノ嶮（かえらずのけん）」という名所にたどり着きました。すごい絶景に大感激しました。不吉な名前を持つこの峰々はその昔、身の程知らずが天狗に近づこうとしてここへ向かい、帰ってこなかったことがその名の由来だそうです。

私はそのスキーの帰り、バランスを崩して滑落してしまいました。斜面を滑り落ちていくとオーロラのような色の光が頭の中を駆け巡りました。これが自分の今までの一生の色だと教えてくれるようでした（これでサヨナラなのか…）。

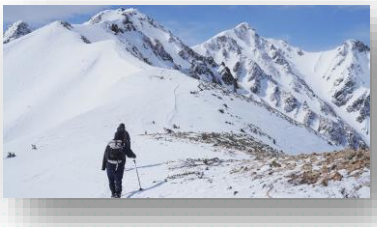
しかし、下まで滑り落ちる手前で、なぜかピタッと止まってくれました。これも俺の運、俺はラッキーだ！と確信した瞬間でした。サヨナラにならずにすみ、ありがたかったです。崖は、自分が思うに７０度くらいの斜度で、断崖絶壁ぐらいに感じられました。

まだ死にたくない、頑張るのみだと思い、手の指を雪に突き差し脚先も雪に突き差して、再び落ちないように気を配りながら、少しずつ上へ登りました。怖いので下を見ないようにして無我夢中だったことを覚えています。なにしろ呼吸をすると胸が膨らむのでズルズルと谷の方へ身体がもっていかれます。

そこから３５分くらいで元の場所にたどり着けました。そしてこの夜、戻れたことのうれしさに感激してしばらく眠れませんでした。

しかし山の天気は変わりやすく、あっという間に猛吹雪になりました。今まであんなにきれいに見えていた景色がもう見えません、突然襲ってくる猛吹雪に対して戦争映画のコンバットのように身体を低くして地面を這います。まつ毛も凍り付き口も開けられず視界はありません。猛吹雪は怖いです。本当に雪は舐めてもならないとこの時つくづく分かった気がしました。

■



編集後記



熊本地震そして千葉の線状降水帯による水害と天災・地災が続きますが、今年の災害はこの辺で終わりにしてほしいですね。

新米の収穫が間もなくですが美味しいお米が沢山採れることを期待しています。今年もきりたんぽを美味しく頂けたら最高です。

（小野）